

締結方法変更によるあらゆる問題点の改善

効果	背景
<ul style="list-style-type: none"> ● 軽量化 :▲75% ● 原価低減:▲20% ● 組付性向上 (工具レス) ● 安定品質 ● 設計工数の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ● 意匠性向上 ● モジュール化対応 ● 再利用可 (リペアー性)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両に必ず設定されるサンバイザーホルダーについて <ul style="list-style-type: none"> ▶ 工具にてタッピングスクリュー締結を実施(組付工数大) ▶ ディーラーにて脱着用途有り(リペアー性が欲しい) ▶ 製品に穴有り(見栄えが悪い) ● ボデーとの嵌合形状について部品共通化の観点より <ul style="list-style-type: none"> ▶ パネル板厚 + パネル絞り深さ + 天井基材潰し見込み厚 = 一定にて各車型設定していたが、バラツキによりサンバイザーホルダーのガタつきが問題となった

POINT

従来品構造



開発品構造



新開発品構造

